



広島県
観音歯科医院

浅川 隆司
先生

今回のアイテム

オプチディスク／CR用研磨ディスク

隣接面、上部鼓形空隙の形態修正・研磨に

審美的で予知性の高いレジ
ン充填を行うには、窩洞の設
定、材料・器具の選択、防湿、積
層法の選択、適切な形態や咬合
の付与、グラスシャイン様の研
磨、リコールと様々な要素があ
りますが、今回は形態修正や研
磨といった最終ステップに便
利なオプチディスクを紹介し
たいと思います。

オプチディスクは研磨粒子
の大きさからコース（ブラウ
ン）、ファイン（オレンジ）、エ
ストラファイン（イエロー）と

識別しやすくカラーコード化
された3種類のディスクと長
短2種類のマンドレルから構
成され、片面だけコーティング
されたディスクを目的に合う
向きにマンドレルに装着し、コ
ントラングルで使用する事
で、隣在歯を傷つける事なく効
率的に作業を進められます。
オプチディスクの特徴はそ
の薄さと柔軟性です。従来の回
転式研磨器具では到達が困難
な部位の形態修正・研磨のみな
らず、広い曲面なども効率的に

作業が行える為、様々な部位に
適用出来ます。

具体的には、私の臨床では前
歯部の修復における切縁、隅
角、コンタクトポイント付近の
隣接面および平滑面（図①）
⑤、また臼歯部2級窩洞の修
復においては辺縁隆線、コン
タクトポイント付近の上部鼓
形空隙の形態修正・研磨（図⑥、
⑦）に欠かせないアイテムとな
っています。



①術前



②薄く柔軟であるため、コンタクト付近～辺縁隆線などの研磨が可能



③切縁の形態修正も容易



④術直後



⑥臼歯2級窩洞の上部鼓形空隙の形態修正や研磨にも便利



⑤術後8ヶ月 着色もなく、良好な光沢が維持されている。



⑦術直後。コンタクト付近～辺縁隆線に自然な豊隆を再現出来た

*患者は育成矯正中で、器具の使用例は矯正調整時に患者の協力を得て撮影したものです。